

# グループホーム 金刀比羅

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		共用型デイサービスを運営している事もあり、地域との繋がりを更に深めて行きたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		気軽に立ち寄っていただける様に声をかけていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方と深く関わっていくためにも今後話し合える機会をつくりたい。		推進会議などを活用して自治会・小中学校にグループホームを知っていただける様な企画づくりに取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価のパンフレットを回覧し、全員が周知している。結果についてはその都度検討し改善している。管理者・職員で評価表の作成に取り組んでおり会議を開き意識と理解に努めている。		新人職員の研修にも利用して入職時から意識づけをしたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中でいただいた意見を参考にしてサービスの向上に努めている。		ご家族・職員も今後も参加できるような企画をつくり、多数の意見・希望をケアに反映していきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村が主催する研修は積極的に参加して、所内研修会・勉強会で報告している。		当事業所の年間計画書に取り入れている。常時情報収集している。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	冊子・パンフレットの配布は常時心がけている。勉強会の実施時には課題として話し合っている。また委員会を設置し各委員により活動している。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事故防止委員会、拘束防止委員会とは別に高齢者虐待防止委員会を設置している。		定期的に勉強会を実施している。また、新人職員の研修にも利用して入職時から意識づけをしたい。

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	入居前に見学・施設の説明を行い理解を得ている。		事前に来所して見学・説明を行っている。電話での相談も受けている。可能なかぎり不安・疑問にお答えしている。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見箱を設置している。ご家族からの意見や苦情などは管理者・職員で速やかに改善するように心がけている。		介護サービス相談員の受け入れを定期的に行っており細かな要望に応えられる様に努めている。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	来所時に健康状態・近況報告をしている。またケース記録を開示したりケアプランの説明もおこなっている。		面会の少ないご家族に対し電話や手紙で連絡、報告をし情報交換を行っている。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見箱を設置している。ご家族からの意見や苦情などは管理者・職員で速やかに改善しその都度掲示している。		意見があれば、管理者から職員、外部者へ。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	管理者と職員でヒヤリングを定期的実施している。また全体会議も定期的に行い職員の意見を出来る限り反映する様に心がけている。		法人として開設時より取り組み、実施方法の意見を職員からもらっている。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	行事予定がある場合など職員配置はリーダー間で話し合い、勤務の調整をしている。研修参加なども参加しやすい様に配慮している。		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動は最小限としている。交代する場合は出来るだけ早く報告して混乱のないように配慮している。		

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	ヒヤリング・個人面談を実施し本人の希望や能力が活かせるように配慮している。		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	全体会議・地域ケア研究会などの参加を呼びかけ人権教育に取り組んでいる。		新人職員の研修にも利用して入職時から意識づけをしたい。
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	各職員が役割を持ってやりがいを感じ、喜びを共有できる様に工夫している。可能な限り全員の職員が研修・勉強会に参加できるよう調整している。		すべての職員が公平に参加できる様調整しモチベーションアップに努めていきたい。
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	他事業所見学や他事業所の職員実習を積極的に受け入れ情報収集を行っている。		職員が外部事業者との交流できる機会を増やしていきたい。
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	話す機会はあるが、個人で抱えてしまう職員もいる。		親睦会を設置しており定期的に懇親会を実施している。毎月のフロアミーティングで悩みを共有したり、個別に声かけ、話をすることで軽減できるよう取り組んでいる。

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修会に参加した職員により、所内勉強会を実施している。又、法人からは永年勤続者へ報奨金の支給や資格取得時に手当を支給するなど配慮している。		昨年よりスタッフの目標を”向上心”と決めている。「実践者発表会」参加に向けて職員全員で資料作成等に取り組み参加する事が出来た。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	常時話ができる雰囲気をつくり安心して生活ができるよう努力している。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談室を設置し落ち着いた空間で話せる環境を整えて随時、相談を受けられるようにしている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	迅速に対応し状況に応じてショートステイやデイサービスを紹介し対応を行っている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービス、ショートステイの利用を進めご自身の状態を見極め入居につなげる努力をご家族と相談しながら対応している。		ショートステイ中に場の雰囲気にできるだけ馴染んでいただけよう、配慮している。又、ショートステイ時の様子を参考に入居後の対応を検討、工夫している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	レクリエーション、食事の準備、片付け、外出などを職員と共にする事で、特に若い職員は入居者の方々から学ぶことも多く、喜怒哀楽をも共有することができる。		定期的に合同レクリエーションを行ったり、花見やドライブ、外食にでかけたりしている。

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時には出来るだけの情報は差し上げて支え合う努力をしている。又、要望などを聞いて出来るだけ早期に解決する様にしている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	多目的室を準備しておりご家族やご自身がゆっくりできるよう配慮している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人が面会に来られた際、希望により外出、外泊をしてもらっている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	1階に入居者全員の方が集まれる空間があり週3回以上合同レクレーションを実施している。又、誕生日会などで交流を深めている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も相談を受けたり、関連法人内の紹介も行っている。		
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご自身の意向をケアプランに計上し把握している。		一人ひとりの個別ケア手順書を作成し新規職員の指導にも役立てている。

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から生活歴や生活環境の情報の収集を行っている。		ケアプランにセンター方式を採用しており色々な角度から情報収集を行っている。又、新規職員にも情報収集の必要性を伝え意識付けしている。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日健康チェックを実施している。個人を尊重しご自身のペース生活リズムを守りながら、無理のない行事、家事等の参加をそくしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	認知症対応のセンター方式を採用しご本人、ご家族の意見を反映した上で介護計画を作成している。		アセスメントに関してはより深い内容、情報、意見を得るために努力している。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	初回は1か月、通常は3か月の周期で入退去時、介護保険更新時はその都度見直しを行い作成にあたっている。		毎日の記録と毎月のモニタリングを行い個別ケアを重視した介護計画の作成に努めている。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の入居者の方の発言や表情など細かくケース記録にまとめている。又、ケアプランにあてはまる事に関してはケース記録紙内に記入している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご自身の体調に応じ外泊、外出など自由に許可している。又、ショートステイ・デイサービスをご自身やご家族の状況に合わせて利用していただいている。		

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	計画的に地域小学生、中学生、高校生、短大生の実習を受け入れている。		頻度を増やし、地域との関わりを深めていきたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご自身の希望を受け入れて自由に他の医療機関を利用されている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域推進委員会の開催時にご家族にも参加を呼びかけ情報交換している。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご自身の希望を受け入れて自由に他の医療機関を利用されている。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	毎週専門医の往診があり報告、連絡、相談により、適切な治療を受けている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	診療所と隣接しており看護師との巡回が組まれている為相談が出来ている。健康管理日誌があり、状況報告ができるシステムがある。		

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>情報交換を行い早期に退院出来る様に医療機関にも協力している。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重度化した場合における対応に係る指針」を確立しておりご家族と職員全員で協力体制を整備している。</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>常時、医療から情報を得て、ご家族と共有している。また、早期に病状を報告してご家族にはご理解を得ている。</p>		<p>御家族の希望に添いながら情報提供し主治医、管理者、職員が一丸となって支援していきます。今後も安心して入居生活を送れるよう契約時に誠意をもって説明していきます。</p>
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご自身の心身レベルに応じて適切なフロアーを選択しご家族のご理解を得て入居に繋げている。また、住み替えもレベル変化に添える様、相談・ご理解の元、実施している。</p>		
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>尊厳を持って言葉かけをしている。プライバシー保護も常に心がけている。職員間でも注意しあえるよう指導している。</p>		<p>特に新人職員には研修を行い意識を高めたい。</p>

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	声かけを工夫しながらご自身の希望に合わせて支援している。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いせずにご自身のペースにあった支援を心がけている。		一人ひとりのペースに添う事の大切さが理解できるよう、新規職員にその時々で指導している。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に理美容の訪問があるので希望の方は利用されている。行事の際には、お化粧品したりマニキュアをしたりとおしゃれも楽しんでもらえるよう心がけている。		別に御自身の希望があればその都度ご家族と協力しながら対応して行きたい。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや食器拭き等、入居者の方々と職員と一緒にしている。		その方の状態に合わせて説明などを行い、ご本人の負担にならない様配慮しながら家事に参加していただいている。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	なるべく多種の飲み物を準備し好みに合わせた物を提供している。現在はタバコの希望はない。		「ビールが飲みたい」等希望される入居者の方がおり、家族の了解を得て行事の時などにノンアルコールビール等を提供していきたい。
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	おひとりおひとりのパターンに合わせてさり気なく声かけを行っている。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご自身の気分に合わせて入浴を行っているが曜日、時間はある程度決まっている。		夜間不眠傾向の方や夜間入浴を希望する方は、他フロアの職員と協力しながら実施していきたい。週3回、1階の大浴場で入浴を行い、ゆっくり入っていただいている。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	不安や落ち着かない時は傍で傾聴したり居室にて休息をとっていただいている。無理はしないがなるべく昼夜逆転にならないよう適宜声かけ等している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	特技を活かせるような工夫をしたり散歩、外食などの気分転換になるような支援を心がけている。		車でショッピングセンターやレストランに出かけ外食や買い物等の気分転換をはかっている。又、誕生日会では好みの物を入居者全員で作ってお祝いするようにしている。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おひとりおひとりの希望に添って買い物に出かけたり、少額の現金の所持は自由にされている。ご家族の理解も得ている。職員もお金を持つことの意義を理解している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩に出かけたり、買い物に出かけたりご自身の希望に合わせている。四季に合わせてドライブに出かけたりしている。		マイクロバスなど利用し、花見やドライブにみんなで出かけ四季を感じてもらえるよう努めている。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食、ドライブなどできるだけ外出する機会を作っている。		御家族の協力もあり、喫茶店で外食するなど、以前より外出の機会が増えている。

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設の電話を自由に利用してもらっている。また、手紙のやり取りも希望に添っている。		年賀状を書いていただき、受け取られた御家族にとっても喜んでもらっている。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室以外にも多目的室を設け安心してゆっくり過ごせる空間を準備、自由に利用していただいている。		面会時に、御家族持参のお菓子などを一緒に食べていただいたりとくつろいでもらっている。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止委員会を設置し、定期的に勉強会を行っている。職員の意識を高め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		新規職員には研修を実施している。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の建築上、やむを得ずエレベーターに鍵を設置している。ご家族と契約時に了解と理解を得ている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーは十分配慮し、ご本人の行動を把握している。環境整備や危険因子は除去して支援している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険であると思われるものについては、ご自身ご家族に了解を得たうえで最低限度の管理を行っている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止委員会を設置し定期的に勉強会を行っている。また、所外研修会に参加し知識を高めリスクマネジメントにも取り組んでいる。		事故防止委員会の会議を定期的に行いその都度報告書をまとめ、管理者に提出している。

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時マニュアル、応急手当マニュアルを準備し全職員の身近かな所に設置しており定期的に訓練を実施している。		金刀比羅複合施設内の他部署職員の連携が確立している。協力する意識もあり体制は整備されている。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年間行事計画書にて定期的に消防訓練を実施している。また、地域との防災協定を結んでおり合同の消防訓練も行っている。自然災害マニュアルを準備している。		金刀比羅複合施設内の他部署職員の連携が確立している。協力する意識もあり体制は整備されている。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族の面会時にはできるだけ情報を差し上げ常に意見を聞いて日々の生活を大切にいただいている。		家族会の開催時にもリスク対応について資料の提供や対応について話し合いをしている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の健康チェックをかかさず、早期に体調不良を発見し医療機関との連携体制を確立している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書は全て保管しており目的、用法、用量は把握している。疑問点があればすぐ主治医、調剤薬局に問い合わせ指導を受けている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	お一人おひとりにあった飲食物を提供したり、適宜な運動・散歩等にて身体を動かす働きかけを行っている。		

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、お一人おひとりに合った方法で行っている。また、異常を発見した場合は早期に歯科受診できる体制をとっている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士と相談しており、栄養バランスは配慮している。食事量のチェックも毎日行っており、お一人おひとりのレベル、好みに合わせた食事形態(キザミ・おかゆ)にも対応している。		食事摂取動作を十分に観察し、自助具の使用や器の工夫をすることで自分の力で食べることができるよう支援している。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防委員を設置し定期的に勉強会実施し感染予防マニュアルを整備している。また、予防接種もご家族から同意をいただき接種している。		感染予防委員会を設置し、勉強会を行うことで職員の感染防止に対する意識を高めている。インフルエンザの予防接種は毎年職員全員が行っている。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手指の消毒は常時徹底している。食材は、管理栄養士の指導のもと管理している。又、グループホームで作った食材は2週間冷凍保存している。		感染予防委員会を設置し、食中毒等の勉強会を行う事で職員の衛生管理に対する意識を高めている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設の建築上、玄関が分かりづらい為、看板等の目印を工夫している。フロアーには、写真や絵を飾ったりして、できるだけ家庭に近い雰囲気づくりに努めている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り物を共同空間に置いている。また、不快な光にならないように随時カーテンを利用し日々の天気に合わせて職員がその都度対応している。		

## グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室以外に多目的ルームがあり、家庭にあるような家具や飾り物を配置している。その空間を自由に使用できるよう開放している。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自身のなじみの物や使い慣れた物を置いている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常時換気扇を使用しており、こまめに窓を開け換気も行っている。外気温との調整も配慮し入居者の方々の健康状態に合わせて空調を使用している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各箇所に手すりを設置し、家具やテーブルを工夫した形で配置している。共用部にはソファ等置き安心して生活できるよう心がけている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	お一人おひとりの得意なことを見つけるよう心がけている。また、負担にならないよう注意しながら家事に参加していただき達成感が持てるような言葉かけを心がけている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周りに植物を植え、利用者とともに水をあげたりして育てている。また、近隣に池や山、神社や公園があり、恵まれた自然環境をご家族共々、利用し楽しんでいる。		

グループホーム 金刀比羅

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

## グループホーム 金刀比羅

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今後も地域に密着した取り組みや入居者の方々と一緒に生活し、支援していくという事を目標にスタッフ一同、向上心を持って取り組んでいきます。又、今年度は他事業所の方々と合同勉強会等を企画し、スタッフが役割を持つ事と共に介護現場での悩みを共有する場を設けていきたいと思っています。